



学 会 通 信

第 72 号

2015 年 5 月 1 日発行

目次

第 22 回年次大会にあたって ご挨拶	2
第 22 回年次大会のご案内【第 1 報】	3
2014 年度第 2 回研究会の報告	5
2015 年度第 1 回研究会お知らせ	6
ICOME2015 のご案内	7
企画委員会ワークショップのお知らせ	8
編集委員会ワークショップ（2 月 7 日開催）報告	9
編集委員会からのお知らせ	10
第 7 期 第 14 回理事会（臨時）議事録	10
第 7 期 第 15 回理事会（定例）議事録	11
第 8 期会長・理事選挙の告示について	12
学会費納入のお願い	13

第 22 回年次大会にあたって ご挨拶

大会実行委員長 柴山英樹（日本大学）

2015 年 10 月 17 日（土）、18 日（日）の 2 日間にわたり、第 22 回日本教育メディア学会年次大会が東京都世田谷区にある日本大学文理学部にて開催されます。

さて、今大会では教育とメディアの理論研究に焦点を当て、教育メディア研究の幅をどこまで広げていく必要があるのか、多くの参加者とともに議論を展開したいと考えております。準備段階ですので、詳しいスケジュール等は確定しておりませんが、「自由研究」に加えて、下記のような「シンポジウム」「基調講演」「課題研究」を企画しています。なお、基調講演につきましては、多くの方と問題意識を共有したく、一般公開いたします。学校・大学関係者広くお誘い合わせの上、ご参加ください。

シンポジウム「教育とメディアの理論研究展望」コーディネータ：小笠原喜康（日本大学）

基調講演「これからの教育と人工知能」（仮題）新井紀子（国立情報学研究所）

課題研究Ⅰ「タブレット端末環境と実践・評価・運用」コーディネータ：中川一史（放送大学）

課題研究Ⅱ「OER / MOOCs のデザイン、開発、実践、評価」

コーディネータ：Insung JUNG、佐々木輝美（国際基督教大学）

課題研究Ⅲ「情報活用能力の育成と評価」コーディネータ：後藤康志（新潟大学）

課題研究Ⅳ「メディアとしての教材」コーディネータ：朝倉徹（東海大学）

本学は学部ごとにキャンパスが分かれております。大会会場となる文理学部キャンパスは、新宿駅から私鉄で 10 分のところにあり、とてもアクセスがよい場所です。幅広い方々からの研究発表のご応募をはじめ、当学会へのご参加をお待ちしています。

また、今回からの新しい試みとして発表予稿集の刊行はいたしません。大会前に、会員の皆様に PDF ファイルの形で配布となります。

◇ シンポジウム「教育とメディアの理論研究展望」

教育メディア研究は、裾野の広い研究です。決して、単にメディア装置を授業等に生かす方法の研究に限定されるものではありません。しかし、ではどのような研究があるのか、どのような研究をしなくてはならないのか、という問題については、ほとんど議論がされていません。シンポジウムでは、単なる効果研究を脱して、本学会独自の研究開発の可能性について、より根源的な議論をおこないたいと存じます。

◇ 基調講演「これからの教育と人工知能」（仮題）

いま、産業革命以来の社会の大変革時代を迎えています。21 世紀は、ロボットと人工知能とビックデータの時代といわれています。その変革は、社会の職業や生活の仕方そのものに大きく及んでくるでしょう。そしてもちろんそれは、教育の方法や学力観にも及びます。人工知能が教室に入ってくる時、そこになにが起こるのか。誰にも予測のつかないこの時代を考える手がかりを、東大入試問題を人工知能に解かせようとなさっている新井先生に伺ってみたいと存じます。

第 22 回年次大会のご案内【第 1 報】

(1) 開催期日 2015 年 10 月 17 日 (土) ~18 日 (日)

(2) 開催場所 日本大学文理学部

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40 <http://www.chs.nihon-u.ac.jp/>

(3) 開催スケジュール (予定)

10月17日(土)

- ・受付(11:30~)
- ・一般研究発表(12:30~15:00)
- ・総会(15:20~16:20)
- ・基調講演(16:30~17:45)
- ・懇親会(18:00~20:00)

10月18日(日)

- ・受付(9:00~9:30)
- ・課題研究(9:30~11:30)
- ・昼食(11:30~12:30)
- ・一般研究発表(12:30~15:00)
- ・シンポジウム(15:20~17:20)

※上記スケジュールは仮のものです。最終確定は、日本教育メディア学会 Web サイト (<http://jaems.jp/>) の「年次大会」をご確認ください。

(4) 発表申込み・原稿締切について

発表者の要件:発表者は会員であることが必須です。発表申込時点までに本学会への入会手続きを済ませてください。なお、入会申込書は学会ホームページからダウンロードしてください。また会員1名が発表できる件数は、課題研究1件、一般研究1件、計2件までとします。

(ア) 課題研究 (2 ページもしくは4 ページ)

課題研究 I 「タブレット端末環境と実践・評価・運用」コーディネータ:中川一史(放送大学)

タブレット端末環境の導入が進んでいます。従来の教材・教具とどのように選択・組み合わせをすることがのぞましいのか、各教科・領域での好事例は何か、さまざまな活用形態で何がどのようにちがうのか、など、実践においてさまざまな課題があります。タブレット端末導入における運用の成果や課題等も含め、広く募集します。

課題研究 II 「OER/MOOCs のデザイン、開発、実践、評価」コーディネータ: Insung JUNG (国際基督教大学)・佐々木輝美 (国際基督教大学)

近年、OER (Open Educational Resources) や MOOCs (Massive Open Online Courses) の普及が進み、教育者や学習者の間で活用されるようになりました。たとえば、大学や e ラーニング企業は JOCW (日本オープンコースウェア) コンソーシアムや、JMOOC など、国内外の組織に参加し、教育資産、オ

ンラインコース、ノウハウを共有しています。

このセッションでは、あらゆる教授場面や学習場面における OER / MOOCs のデザイン、開発、実践、評価などに関するテーマを扱う予定です。研究者、大学の教員、学校関係者、大学院生、そして学習者から研究論文や政策報告や事例研究などを広く募り、これからの OER / MOOCs の有効活用について議論します。

課題研究Ⅲ「情報活用能力の育成と評価」コーディネータ：後藤康志（新潟大学）

生涯にわたって学び続ける資質・能力の育成が求められています。情報活用能力はその基盤をなすものと考えられます。近年、タブレット PC や電子黒板、ソーシャルネットワーク等を活用した学習が幅広く展開されるようになり、そこで身につける資質・能力の評価に関しても情報活用能力調査の結果が公表され、PISA のデジタル読解力調査、VALUE ルーブリックなどを組み入れたパフォーマンス評価など新展開も見られています。本セッションでは、こうした流れを踏まえ、情報活用能力や新しい時代のメディアリテラシーをいかに育成し評価するかに関わる幅広い理論的研究、実践的研究をもとに議論を深めたいと考えています。

課題研究Ⅳ「メディアとしての教材」コーディネータ：朝倉徹（東海大学）

教材をメディアという観点から捉えると、教材作成の方向性や方法論、学習内容に求められる目的を再検討する必要性、現在使用されている教材が作り出している学習文化等が見えてきます。例えば、ある教材は学習者のどのような能力をどう拡張するのか、あるいは既存の認識をどのように変えるのか、またはドリル教材がどのような学習観を作り出しているのか等。

本課題研究では、教育メディア研究者の視点から、教材のあり方や実際の教材の分析・評価等について広く談論したいと考えております。

- ・課題研究プロポーザル（要旨）の申し込み期間

2015 年 6 月 24 日（水）～7 月 20 日（月）

※課題研究プロポーザルに必要事項を記入の上、大会 Web サイトより提出してください。課題研究ごとに最大 5 件を予定しております。選考結果によっては一般発表に回っていただくことをお願いする場合がございますので予めご了承ください。採否通知は 7 月末頃におこなう予定です。

- ・課題研究 原稿提出締切 2015 年 9 月 22 日（火）

(イ) 一般研究（2 ページ）

原稿提出期間 2015 年 8 月 18 日（火）～9 月 22 日（火）

※期日までに提出された原稿の受領をもって発表申し込みとさせていただきます。原稿枚数、書式をご確認の上、大会 Web サイトよりご提出ください。なお、一般研究に英文で提出する場合は発表も英語で行って頂きます。英語での論文は 10 件程度まで受け付けます。

(5) 年次大会の参加費等

※参加費等については、後日お知らせいたします。

(6) 大会事務局・問い合わせ先

・年次大会に関するお問い合わせは下記まで電話または電子メールにてお願いします。

日本大学文理学部 教育学科研究室

電話：03-5317-9714

メールアドレス: jaems2015@oggo.jp

2014 年度第 2 回研究会のご報告

2014 年度第 2 回研究会が、愛知教育大学教育未来館にて 2015 年 2 月 21 日（土）に開催されました。昨年の 9 月にできた新しい会場で、会員以外も含めた大学教員や現職教員、学生参加のもと、10 件の研究発表が行われました。

今回の研究会のテーマは「ICT を活用した教育を促進するための支援・教育実践/一般」でした。このテーマを設定したのは、教育の情報化によって電子黒板やタブレット PC 等が学校に整備されつつありますが、どのように ICT を活用すればより効果的なのか、使ってみてどのような問題がありどのように改善が必要か等、ICT を活用した教育を促進するためには様々な課題が残っているからです。

このようなテーマのもと、関連する多くの研究が発表されました。まず、現状や問題把握を通して、どのような支援が必要かを明らかにする発表がありました。具体的には、高等教育において AR コンテンツ制作や、Google Classroom を活用した授業実践を通じた授業デザインについて

の研究、教師がどのようなコンテンツを利用しているか、検索や活用の際に教師はどのような課題を感じているかを質問紙調査を通して明らかにした研究、教師の ICT 指導力にメディア情報リテラシーの学習がどのように効果があるのかの研究、教員養成課程の教育実習における ICT 活用に関する研究、がありました。

また、紙と ICT を併用したり、比較したりする実践から、それらにどのような効果があるかを明らかにしている研究発表がありました。具体的には、宿題の紙のプリントという従来の学習形態を変えることなく、自動採点や理解度の自動チェックを行う答え合わせ支援システムの開発に関する研究、課題別に分かれて資料を作り、班で共有し、最後に 1 つの資料としてまとめ理解を深める学習を、紙媒体中心とタブレット PC で比較した研究、紙の教科書や黒板やノートを用いた従来の学習方法と、Web 検索と



SNS を活用した ICT 活用型の学習方法とを比較した研究、が報告されました。

全体を通して、ICT を活用した教育という共通点を持ちながらも、初等教育から高等教育、教師教育と対象も幅広く、取り扱う内容や目的も様々でありましたが、質疑応答の時間には多岐にわたる視点からの活発な発言をいただき、有意義で充実した時間となりました。本研究会にご参加いただきました皆様に改めてお礼を申し上げます。

(文責：愛知教育大学 梅田恭子)

2015 年度第 1 回研究会お知らせ

■ テーマ 「情報活用能力の育成とメディア/一般」

研究委員会 国内研究会担当 委員長 浅井和行、本企画担当 稲垣忠・市川尚

平成 27 年 3 月に文部科学省から「情報活用能力調査」の結果が報告された。同報告では、子どもたちが目的に応じて必要な情報を見つけ出すことや、受け手の状況に応じて発信の仕方を工夫することなどに課題がみられるとされた。

情報活用能力について本学会では、平成 26 年の年次大会において課題研究「情報活用能力と評価」を開催したところであり、平成 27 年の年次大会においても、メディアリテラシーとともにその育成について取り上げることを予定している。継続的な議論の場として本研究会を位置づけるとともに、研究会では学会員以外からの発表も可能であるため、より多様な立場からの提案を期待する。

情報活用能力の育成に資する授業実践、教材、カリキュラム開発、学習評価の方法といった実証的な研究、メディアリテラシー、情報リテラシー、ICTリテラシー、21 世紀型スキル等の関連領域との理論的検討など、情報活用能力とメディアに関わる幅広い研究発表を募集する。その他、本学会がテーマとする内容に関する研究についても発表可能である。

なお、当日は宮城県内で情報活用能力の育成をテーマにした現場教員を中心とする研究サークル「情報活用型授業を深める会」に所属する教員、研究者、学生も参加する。

■ 日時 2015 年 6 月 13 日（土曜日）午後 1 時から 4 時（予定）

■ 場所 東北学院大学 泉キャンパス 4 号館 教育工学実習室

住所：仙台市泉区天神沢 2-1-1

<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campusmap/izumi.html>

仙台駅～泉中央駅（仙台地下鉄 15 分）

泉中央駅～東北学院大学（宮城交通バス 15 分）

■ 参加費 資料代 1,000 円

■ 発表の申し込み

本研究会は学会員、非学会員問わず発表することができます。以下の申し込みフォームより、発表申し込みよろしくお願ひします。

URL : <http://jaems.jp/meeting/>

発表申し込み（タイトルのみでOKです）：5月9日まで

原稿提出（メールにて提出お願ひします）：5月24日まで

なお、原稿は上記 URL に掲載されているテンプレートをご使用ください。4 頁以上、10 頁以内の偶数ページで作成お願ひします。

■ 参加の申し込み

本研究会は発表をしない参加も受け付けております。発表と同様に上記 URL から申し込みフォームをご利用いただき、「発表しない」にチェックを入れて下さい。懇親会へご参加いただくことも歓迎します。

ICOME2015（東北師範大学 中国 長春）のご案内

研究委員会 国際研究会担当 委員長 影戸 誠

昨年度ソウル 高麗大学で開催された ICoME、今年度は中国・東北師範大学で開催されます。JAEMS と現地実行委員会と連携をとりながら進めており、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

※ **Abstract(150-200 words) submission: deadline: 4 月 30 日→5 月 15 日（延長されました！）**



※ 投稿・案内サイト <http://jaems.jp/icomel/>

共催 日本教育メディア学会 連携 日本教育工学会

- ・テーマ：デジタル環境におけるインテリジェントラーニング
- ・現地実行委員会 Web ページ：http://icomel2015.nenu.edu.cn/webs/show.asp?M_id=47
- ・スケジュール 2015 年 8 月 17 日（月）～20 日（木）

- ・特徴 研究者、院生、学部生の交流
英語での発表：コンカレント 大学院生、学部生の発表と交流会 (Round Table)
日中韓の交流会 共同研究協議 英語ジャーナルの発行 (ISSN 1882-2290)

- ・リサーチエリア
 - Building and sharing digital education resources on the Internet
 - Collaborative learning/training
 - Curriculum design and development for open/distance education
 - E-learning pedagogical strategies
 - Innovative software and hardware systems for education and training
 - Information technology and higher-order thinking
 - Learning management information systems
 - Constructing intelligent learning environment
 - Innovation in teaching and learning with intelligent environment

- ・Paper Submission
 - All papers should be write in English
 - Abstract(150-200 words) submission: deadline: 15 May, 2015
(JAEMS サイトより申し込み)
 - Notification of acceptance: 10 June, 2015
 - Full paper submission: deadline: 15 July, 2015
(Concurrent sessions: A4, 6 pages) 一般 6 ページ
(Roundtable proposals: A4, 2 pages) 学生 2 ページ

- ・エントリー費
日本からの参加者は、日本教育メディア学会事務局にエントリー費をお支払い下さい。
次回、日本で ICoME2016 (京都外国語大学) で開催される際の運営費として使われます。
・正会員：5,000 円 ・非会員：7,000 円 ・学生会員：3,000 円

企画委員会ワークショップのお知らせ【第1報】

■テーマ「ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシー」

企画委員長：中川一史、担当：佐藤幸江、前田康裕

世界中のあらゆる情報が、いつでもどこでも手に入り、誰もが発信者となり、誰とでも交流することができる社会になりました。その反面、様々な課題も出てきています。本ワークショップにおいては、

「ソーシャルメディア時代のメディア・リテラシーとは」という問いをもとに、今後の研究課題や教育への展開について議論したいと考えています。

- 日時 2015年9月5日(土) 13:30~17:00(終了後懇親会)
- 場所 東京ユビキタス協創広場 CANVAS(東京都中央区新川2-4-7)
<http://www.uchida.co.jp/company/showroom/canvas.html>

編集委員会・企画委員会ワークショップ(2月7日開催)報告

2015年2月7日(土) 13:00から、奈良教育大学教職大学院棟(R13棟)で、学会の編集委員会・企画委員会の合同企画によるワークショップを開催しました。本ワークショップは、2015年7月30日投稿締め切りの「教育メディア研究」22巻2号において、特集号「教員養成・現職研修におけるメディア活用」を予定していることと連動した企画でした。

15名の参加によるワークショップであり、3つの話題提供と、3グループに分かれて各2つのレポートの検討を行う内容の濃い研究交流が行われました。

第一部の関連研究に関する話題の提供としては、後藤康志(新潟大学)氏、前田康裕(熊本市教育センター)氏、加藤由香里(東京農工大学)氏から行われました。後藤氏からの話題提供は、映像による話題提供で、教員養成の教職科目「教育の方法および技術」のシラバス分析等を通じて、それがどのように行われているか、関連している研究はどのようなものかなどについて、振り返る提案が行われました。前田氏からは自身がこれまで教育センターで行ってきた実践を振り返り、現職研修の内容、課題、それを研究として記述していく上での難しさなどについて提案が行われました。加藤氏からは、留学生対象の日本語教育に関わって、どのようにそれを進めてきたか、留学生が各国に戻ってから、その人的ネットワークを用いてどのようにテクノロジーを活用しながら、研修を進めてきたか、その際の各受講者の研修過程の分析をどのような研究手法で進めてきたか、の提案が行われました。3つの提案を通して、本ワークショップのテーマである「教員養成・現職研修におけるメディア活用」に関して、どのように研究を記述していくかについて、参加者が見通しを得ることができる貴重な提



案が行われました。

第2部では、今野（明星大学）氏、寺嶋（大阪教育大学）氏、小柳（奈良教育大学）の3人をコーディネータとして、3つのグループに分かれ、各グループ内でそれぞれ2本のレポート報告（自身が進めている、あるいは、進めたい研究内容の紹介）が行われました。報告を受け、各グループで活発な論議が行われ、意図されている目的、内容、方法などの整合性や、記述をしていく際にアイデアなどについて、深い議論が行われました。

全体を通じて、研究関心や自身の取り組みをどのような手法で分析し、記述していくかについて、各参加者がそれぞれ1人称で語り合う場面も設けることもできた貴重な機会となりました。ご参加いただいたみなさまに感謝いたします。
(文責：奈良教育大学 小柳和喜雄)

編集委員会からのお知らせ

編集委員会委員長 久保田 賢一

■特集号「教員養成・現職研修におけるメディア活用」(予定) (Vol. 22, No. 2) 募集のお知らせ

日本教育メディア学会では、22号2巻で「教員養成・現職研修におけるメディア活用(予定)」の特集論文を組みます。

特集号においても一般論文を受け付けていますのでふるって投稿をお願いします。

締切：2015年7月30日

第7期 第14回理事会(臨時)議事録

1. 日時 2015年2月23日～3月1日
2. 場所 会則第24条に基づく電子メールによる会議
3. 出席者 会長、理事23名(25名中)
4. 協議事項

※会議に先立ち、会長より会則第24条に基づく電子メールでの会議開催に関する手続きの説明があった。理事は、各議案を承認することについての可否を1週間以内に返信することとした。

審議事項

(1) 理事、年次大会副委員長、大会実行委員長の委嘱について

柴山英樹会員(日本大学)を会則17条による理事(任期1年)、年次大会副委員長、大会実行委員長とすることが、承認された。

第7期 第15回理事会（定例）議事録

1. 日時 2015年4月12日（日）14:00-17:00

2. 場所 東京（武蔵大学）、大阪（関西大学）2会場をテレビ会議で結び実施

3. 出席者 会長、理事18名、委任状（会長に一任）7名、監事2名

4. 協議事項

<審議事項>

（1）入会者・退会者について

事務局長から、前回理事会以降の入会者・退会者について説明があり、審議の結果承認された。

（2）2014年度事業報告・決算報告案について

事務局長から、「2014年度 事業報告・決算報告案」が示され、審議の結果承認された。

（3）2015年度事業計画・予算案について

事務局長から、「2015年度 事業計画・予算案」が示され、審議の結果承認された。

（4）選挙管理委員会の構成と委員の委嘱について

会長から選挙管理委員会の構成と委員の委嘱について説明がなされ、審議の結果、佐々木輝美会員、中川一史会員、宇治橋祐之会員に選挙管理委員を委嘱することが承認された。

（5）理事会による次期会長候補の推薦について

会長から理事会による次期会長候補者として黒上晴夫会員を推薦することが提案され、承認された。

（6）年次大会の課題研究・シンポジウムのテーマ・担当者について

年次大会委員長および大会実行委員長からシンポジウム・基調講演・課題研究の計画が提案された。審議の結果、シンポジウム・基調講演のテーマ・登壇予定者については原案通り承認され、5つ企画が検討されていた課題研究については4つのテーマに絞り開催する計画が承認された。大会参加費については、例年と変更になる場合、学会通信で会員に通知する前に電子メールによる臨時理事会で諮ることが確認された。

（7）学会通信 台割案について

広報委員から今後の学会通信（72～76号まで）の台割案について提案がなされ、審議の結果、承認された。ただし、研究会などの開催日程により記事掲載予定号が変更になる場合があることが確認された。

（8）その他

村野井理事から、川崎市の中学生殺人事件に関する報道に対して、表現に配慮するよう学会としてメディアに申し入れることができないか、という提案がなされた。審議の結果、具体的に誰がどのように

表現したことに対し実際にどのような悪影響があったのかを特定することは困難であり、また、このような内容については、学会としては研究の視点から何ができるかを検討することが本来のあり方ではないかという観点からも、今回は、学会としてメディアへの申し入れ等の検討は行わないことが確認された。

<報告事項>

(1) 編集委員会（国内ジャーナル担当）報告

編集委員長（国内ジャーナル担当）から、『教育メディア研究』編集進捗状況について報告がなされた。

(2) 編集委員会（国際ジャーナル担当）報告

編集委員会（国際ジャーナル担当）から、IJEMT ジャーナル編集の進捗状況について報告がなされた。また、今後、国際ジャーナルを年間2冊発行するために、TCC（Technology, Colleges and Community オンライン会議）との連携を模索していることが報告された。

(3) 研究委員会（国内担当）報告

研究委員会（国内担当）委員長から、2015年度研究会開催日程・場所について報告がなされた。

(4) 研究委員会（国際担当）報告

研究委員会（国際担当）委員長から、ICoME2015開催に関する進捗状況について報告がなされた。また、日本教育工学会の国際化推進担当者を通じて同学会の会員に対してもICoME2015参加者募集について広報する予定であることが報告された。

(5) 企画委員会報告

企画委員会委員長から、今年度の計画について報告がなされた。企画委員会企画1回、編集委員会と合同企画1回でワークショップ等を企画したいと考えているが、新体制となる総会以降の計画は新しい担当者に再検討してもらうことが確認された。

(6) 広報委員会報告

広報委員から、前年度の活動報告がなされた。

以上

日本教育メディア学会 事務局長（第7期）

中橋 雄（武蔵大学）

第8期会長・理事選挙の告示について

第7期会長・理事の任期満了にともない、下記の選挙手続きおよび日程で第8期会長・理事選挙を行う。

記

2015年4月12日(日): 選挙管理委員会開催
2015年5月1日(金): 選挙告示
2015年5月16日(土): 公募案内郵送
2015年5月29日(金)～6月12日(金): 公募受付期間
2015年6月20日(土): 会長・理事選挙案内郵送
2015年7月1日(水)～7月15日(水): 投票期間
2015年7月28日(火): 開票

以上

選挙管理委員会 佐々木輝美、中川一史、宇治橋祐之

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2015年度(2015年4月1日から2016年3月31日)の年会費(正会員7,000円、学生会員4,000円)が未納の方は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店(ヨンイチハチ店) 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会(ニホンキョウイクメディアガッカイ)
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。大学事務局を通じた大学名による振り込みは、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生(社会人学生を除く)です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください(スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます)。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要お知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、事務局までメールアドレス、お届け先住所の情報をお送りくださるよ

う、よろしくお願いいいたします。

【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員（2名）・・・本間 理絵、原田 輝俊

新入会員・学生会員（1名）・・・松本 侑馬

退会者・正会員（10名）・・・生田目 康子、寺尾 裕子、長尾 尚、辻 高明、大作 勝、瀬川 武美、
村田 明子、上松 恵理子、小川 哲也、野田 真奈

種別変更（学生会員→正会員）（2名）・・・吉田 誠也、芝田 成輝

種別変更（正会員→学生会員）（1名）・・・佐藤 和紀

会員総数 375名・16団体

名誉会員：3名

正会員：335名

学生会員：37名

団体会員：6団体

購読会員：10団体

（2015年4月29日現在）

日本教育メディア学会 事務局

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

武蔵大学社会学部 中橋雄研究室内

電話：03-5984-4792 E-mail：office@jaems.jp

学会ホームページ URL：<http://jaems.jp/>

広報委員会

委員長 小柳和喜雄（奈良教育大学）

副委員長 永田智子（兵庫教育大学）

副委員長 村上正行（京都外国語大学）